

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 30 年 (2018)

皇紀 2678 年

平成 30 年 新春号【第 110 号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

年頭所感	2 頁
新春初詣	3 頁
早春の行事	4 頁
杜の話題	6 頁
第 4 回フォトコンテスト入選作品発表	9 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10・11 頁
正月社頭風景	12 頁



吉神矢・吉神札焼納祭
とんど焼き (1月15日)

大宮八幡宮 早春の行事

新春恒例の除魔神事、 墓目の儀・大的式

初春の年頭にあたり、天下泰平・国家安泰を祈念する恒例の弓の除魔神事。墓目の儀・大的式が、1月2日午前10時よりご宗家はじめ小笠原流一門の方々により奉仕されます。墓目は、矢先につけた墓蛙に似た鎗の形をいい、鋭い風切り音により魔障を退散させます。大的式は、千五百年前清寧天皇の御世に射を行った日本書紀の記述に基づき、公家・武家に伝わる重儀で、いづれも当宮の新春の恒例の弓始めの神事です。



新春献燈提灯奉納のご案内

新春の期間中多くの参拝者をお迎えするに当たり、皆様方のお名前を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を尚一層賑々しくお飾りさせて頂きたく存じております。つきましては、左記よりご献燈を賜りたく宜しくお願ひ申し上げます。

掲出期間 1月1日から2月3日まで
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円
申込締切 12月20日



成人奉告祭のご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告する成人奉告祭を随時ご奉仕しています。ご祈願の新人の皆様に宮司揮毫の千支絵馬を特別授与いたしております。新成人の皆様のご参拝をお待ちしております。



古札焼納祭(とんど焼き)斎行

小正月の伝統行事、古神矢・古神札焼納祭(とんど焼き)が1月15日午前に行われます。古く宮中では小正月に清涼殿東庭で古書を焼く左義長の儀式が行われました。当宮では、社殿にまつる睦月月次祭に併せて古神矢・古神札焼納祭が行われ、続いて午前11時半より境内斎場にて焼納祭を斎行。参拝者の皆様よりお納めいただいたご神札、お守り、守護矢、注連縄等が特設齋場に積み上げられ、火鑽神事により古式に則り熾された浄火が点火されます。燃えさか



るお焚き上げの忌火を前に宮司以下神職等が大祓詞を奏上、参列の皆様を始め氏子崇敬者各位のこの一年の除災招福を祈ります。また境内では、当宮女神婦人会(りんどう会)により「厄除せんざい」が浄火によって炊かれ、振る舞われます。



とんど焼きにご協力をお願い

御神札等をお納め頂く際に全て点検・選別させて頂き、神社関係以外のもの、燃えないもの・有毒物質の発生恐れのあるもの(プラスチック製品等)・包装紙は、その場でお持ち帰り頂いております。◆御守り・古神矢・古神札類(他の神社のもの)及び正月飾りのみお預かり致します。◆人形類は、別途ご社殿におきまして人形感謝祭を斎行してからお納め頂きますので、直接祈願受付所へお申し出下さい。(※但し、ぬいぐるみはお預かり出来ません)

初天神祭

当宮境内社の大宮天満宮では1月25日午前10時より初天神祭を斎行します。学問の神様菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈願します。また、社頭祈願祭も併せて奉仕し、梅の香かおる「梅ヶ香御守」が授与されます。



大宮稲荷神社初午祭

和銅4年の初午の日に京都伏見の峰に稲荷大神が降りられた故事により全国の稲荷神社では初午祭が斎行されます。本年も初午の2月7日午後1時より、境内社大宮稲荷神社にて初午祭が斎行されます。社頭には百数十本の鮮やかな朱色の初午のぼりが立ち並び、のぼり奉納者・崇敬者の参列のもと祭典が斎行されます。また、兼務社の堀ノ内熊野神社・成宗白山神社・尾崎熊野神社、境外社の谷中稲荷神社でも執り行われます。



紀元祭並びに榎原神宮選擇

2月11日建国記念の日(紀元節)。今年も初代神武天皇が大和の榎原の宮で即位されたから皇紀二六七八年になります。この日は全国各地で我が国の建国を祝う諸行事が行われます。当宮でも午前10時より紀元祭が斎行され、皇室国家の繁栄・国運の隆昌と世界の平和をご祈念申し上げ、榎原神宮を選擇します。



大宮八幡桜まつり

春先、大宮八幡宮を中心とする和田堀公園(旧境内)一帯は善福寺川沿いの数千本の桜が一斉に咲き誇ります。当宮では、桜の開花に合わせて3月下旬から4月上旬にかけて「大宮八幡桜まつり」を開催。期間中の土曜・日曜は午後8時まで開門し、夜間参拝と桜満開の和田堀公園への通り抜けができます。また期間中の土曜午後6時より雅楽演奏「夜桜の神遊び(雅楽と神楽の夕べ)」を開催します。



新春厄除開運初大祈願祭(一番祈禱)

元旦の午前零時、神能「翁」の奉奏に続き、その年最初の祈願祭である「新春厄除開運初大祈願祭(一番祈禱)」が宮司奉仕により執り行われます。



新春初祈願企業団体の祈願祭も

新春に当たり氏子崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする新春初祈願祭を連日ご奉仕させて頂きます。又、企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。ご祈願の際は代表様・従業員の皆様も揃いご昇殿頂きます。この新春にお揃いのご祈願を受けられまして、清々しい気持ちで一年の仕事始めとされては如何でしょうか。

新春祈願・企業団体祈願をご希望の方は、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、ご予約をお願い致します。
※御神札には、祈願名と代表者名を浄書させて頂きます。

勸学祭・ランドセルお祓い

小学校への入学は格別に印象深い人生の節目です。小さい背中に大きなランドセルを背負って歩く新一年生の姿は可愛らしく頼もしいものです。これから毎日背負うランドセルをお祓いして、子育て八幡様のご加護を戴き6年間の学校生活の充実と交通安全を祈願いたします。



新春厄除祈願祭のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しましょう。

平成三十年厄年表(数え年)

	前 厄	大 厄	後 厄
男	平成7年生(24歳)	平成6年生(25歳)	平成5年生(26歳)
性	昭和53年生(41歳)	昭和52年生(42歳)	昭和51年生(43歳)
	昭和34年生(60歳)	昭和33年生(61歳)	昭和32年生(62歳)
女	平成13年生(18歳)	平成12年生(19歳)	平成11年生(20歳)
	昭和62年生(32歳)	昭和61年生(33歳)	昭和60年生(34歳)
性	昭和58年生(36歳)	昭和57年生(37歳)	昭和56年生(38歳)
	昭和34年生(60歳)	昭和33年生(61歳)	昭和32年生(62歳)

※大厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることが出来ます。



にて、責任役員・総代・りんどう会役員他氏子・崇敬者の参列のもと齋行されました。当宮幼稚園児らが園内の稲田で田植えや稲刈りをして丹精込めて育てた初穂や、JA東京中央杉並支部など氏子崇敬者の篤志の方々から献納された穀物、またさまざまな野菜果物などが庭積神饌として大前にお供えされました。



秋の爽りに感謝 新嘗祭齋行

新穀を大神様にお供えし一年の収穫を感謝する新嘗祭が、11月23日に降雨の中齋行されました。祭儀は午前9時より宮司以下祭員により大祭式

杜の話題

大宮八幡祭り(秋の大祭)

夏の騒々しい蝉の音も、静かな虫の音に変わり秋の気配を感じる9月恒例の大宮八幡祭り(秋の大祭)が行われました。まず3日には弓道奉納射会。社殿で開催奉告参拝に続き、弓道場振武殿で神殿祭が行われ、その後門人等により日頃の鍛錬の技が奉納されました。15日には神社本庁より献幣使小野東京都市社庁長参向のもと例祭を齋行。秋の爽りの感謝と皇室国家の安泰と氏子崇敬者各位の隆昌発展を祈念いたしました。次いで16日には、大宮幼稚園園児民謡踊り・杉並太鼓・方南エイサー踊りなど様々な神賑行事が奉納されました。夕刻に、宵宮祭が齋行されました。翌17日は氏子奉幣祭が執り行われ、大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の6地区の氏子より寄せられるご浄財

が氏子幣として大前に奉獻されました。また、氏子各地区より神輿の社参が午前中より次々に行われ、夕刻午後6時には、第32回神輿同宮入りとなりました。台風18号の接近による雨降りの悪天候を吹き飛ばすように8基の神輿が威勢よく、神門内大前に次々と練り込み、一斉の神輿振りは最高潮に達しました。このほか17日午後には、小笠原流宗家による弓の神事草鹿式が奉納されました。また9月9日より18日まで清涼殿ロビーでは、重陽の節句菊被締飾りが展示されました。

第17回十五夜の神遊び

第17回十五夜の神遊びが10月7日の夕刻に開催されました。ご参列の皆様の手により約1300基の竹筒に火が入られました。神楽殿にてまず当宮神職・巫女による雅楽の演奏、浦安の舞の奉奏があり、「月の音舞台」ではおなじみの「き乃はち」氏が尺八の奉納演奏。虫の音もすだく境内に豊かな尺八



神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式

11月14日、初春を迎えるにあたり氏子・崇敬者・立正佼成会会員の方々にお頒ちする神宮大麻の頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式が齋行されました。瀬沼責任役員・総代及び兼務神社役員・立正佼成会神札頒布責任者の小松茂登子様のご参列のもと、ご



第39回杉並大宮菊花展

第39回杉並大宮菊花展が10月25日より11月26日まで開催されました。恒例の「753」文字菊の前では七五三詣りの家族連れが和やかに記念撮影をする姿が見受けられました。11月6日には杉並大宮菊の会(会長五本木徳治役員)主催のもと審査会が行われ、宮司賞以下選定されました。第39回杉並大宮菊花展表彰式は12月14日に執り行われました



の音色が響き、鎮守の杜は、しばし幽玄の世界に包まれました。

高千穂大学杉並校地再構築・新体育館竣工清祓式

この度隣接の高千穂大学では、杉並校地再構築・新体育館の工事が行なわれ、10月24日に竣工式・祝賀会が行われました。竣工清祓式は、新体育館1階競技室にて宮司以下祭員奉仕により大学理事長、学長他工事関係者参列のもと厳粛に齋行されました。祝賀会は同大セントラルスクエア4階のカフェテリアにて盛大に行われました。

佼成三和会宗教研究部会「開祖さまの足跡を訪ねる会」が参拝に

11月2日、立正佼成会の三和会の皆様29名が来宮されました。三



和会は教団事業体の退職者で構成され、法・人・社会の三つの和に邁進し報恩感謝の実践に向けて寄与することを目的とする団体です。一行はまず正式参拝の後、社殿前にて集合写真、境内を散策しました。清涼殿羽衣の間に宮司挨拶の後、懇親会となりました。

各小中学校で周年記念のお祝いが

当宮の近隣の小中学校がそれぞれ節目の年を迎えてお祝いの会が開催されました。10月14日には、松ノ木小学校創立60周年記念式典が開催されました。また10月21日は、大宮小学校創立140周年記念式典が、11月11日は、大宮中学校創立70周年記念式典が各校で開催されました。また、12月2日、松ノ木中学校創立70周年記念式典。同祝賀会は当宮清涼殿(羽衣蓬莱の間)で開催され、いずれも宮司が出席しました。社会科見学や職場体験学習、雅楽教室など日頃より交流があり、7月の大宮天神こどもまつりでは、数多くの書画行燈の作品を奉納いただいております。

第27回杉並花笠祭り

師走の風物詩である杉並花笠祭りが12月9日、開催されました。今回27回となる花笠祭りは、サミット(株)・サミットコム・大宮八幡宮の主催で行われ、午前10時から午後3時まで約3万人の参拝者で賑わいました。表参道では花笠踊りのパレードが練り歩き、山形県の郷土料理である芋煮や御神酒などが振る舞われ、山形産の農作物や特産品の露店が立ち並びました。



第39回杉並大宮菊花展受賞者

- | | | |
|------------|--------|--------|
| 宮司賞 | 精興右近 | 倉本 栄子 |
| 杉並区長賞 | 泉郷紅姿 | 五本木 徳治 |
| 杉並大宮菊の会会長賞 | 大宮の黄色作 | 本橋 利夫 |
| 大宮八幡宮責任役員賞 | 国華金山 | 櫛田 晃一 |
| 京王電鉄賞 | 国華越山 | 倉本 晴雄 |
| サミット賞 | 国華金山 | 中村幸之輔 |
| サミット賞 | 新太平の銀峰 | 青木 弘次 |
| 審査委員長賞 | 新太平の銀峰 | 大和田谷三 |
| 末柄賞 | 国華金山 | 堀井 祺三 |
| 藤枝賞 | 高橋 住雄 | |
| 八幡通り商業会賞 | 泉郷天乙女 | 五本木 秀子 |
| 金賞 | 精興綾姫 | 松尾 和雄 |
| 金賞 | 国華金山 | 山田 恭市 |
| 金賞 | 国華聖者 | 庄司 衛 |
| 金賞 | 国華光の園 | 後藤 明弘 |
| 金賞 | 富士新雪 | 川上 忠彦 |
| 協力賞 | 国華花百合 | 木下 武雄 |
| 協力賞 | わかば | 田口紳三郎 |

方南小学校職場体験学習

12月1日、方南小学校の生徒4名が職場体験学習を行いました。神職より参拝の作法や神社の由緒などの説明を受け、境内の清掃や祓詞の書写等を行いました。



東京都八幡会研修旅行

10月2日～4日、東京都八幡会(鎌田紀彦会長)の研修旅行が12名の参加で行われ、近江路琵琶湖周辺の社寺を精力的に参拝しました。早朝に東京駅より新幹線で米原へ行き、まず山津照神社、日撫神社を参拝し、その後彦根城を見学。午後は琵琶湖竹生島の都久夫須麻神社を参拝し、その後、長浜八幡宮を正式参拝。豊国神社を参拝後に長浜尾上温泉に宿泊。二日目は、近江八幡に進み沙貴神社を参拝後、日牟禮八幡宮を正式参拝。竜王町苗村神社西本殿・苗村不動明王・苗村神社東本殿を参拝後は、野洲町に移動して、御上神社、兵主大社を参拝し琵琶湖温泉泊となりました。最終日は、大津市志賀八幡神社、近江神宮、長等神社を参拝後、三井寺を参詣。午後は建部大社を参拝後、愛知郡愛荘町豊満神社を参拝して米原駅より帰途に着きました。



近江神宮、長等神社を参拝後、三井寺を参詣。午後は建部大社を参拝後、愛知郡愛荘町豊満神社を参拝して米原駅より帰途に着きました。

大宮幼稚園園児画展

今秋も恒例の大宮幼稚園の年中組の作品が、「家族として」として「こころ」をテーマに106点、神門南側回廊に10月18日～11月30日の間展示されました。時折母親に手を引かれた園児たちが、自分の作品を確認する姿が見受けられました。



全国八幡宮連合研修会

全国八幡宮連合の第38回研修会が11月6～7日、徳島県で開催され、宮司が出席しました。早朝羽田空港より飛行機で徳島空港へ。日和佐八幡神社を参拝後、ホテル白い燈台で15時に開会となりました。来賓祝辞等の後、「神社と祭りが地方創生の鍵を握る」と題する講演、懇親会が催されました。翌日には大麻比古神社を正式参拝、鳴門ドイツ館を見学。その後うずしお観潮船に乗船し徳島空港より帰途に着きました。

第39回世界連邦平和促進全国宗教者・信仰者長崎・平戸大会に

11月29日、世界連邦平和促進全国宗教者・信仰者長崎・平戸大会が開催され、宮司が出席しました。平戸ザビエル記念教会にて受付後、同教会にて「平和の祈り」を捧げ、平戸文化センターにて開会となりました。式典後の講演2題、平戸神楽を見学後、大会宣言文を採択して閉会となりました。バスにて平戸温泉旗松亭に移動してレセプションとなりました。

境内整備の一環として神門前に石碑を集めた小庭園を
この度、神門前の自販機横地を整理して石碑、歌碑を移設しました。10月25日、清祓が行われ31日に竣功となりました。



りんどう会だより

第10回りんどう会研修旅行 筑波山神社参拝の旅

11月16日、第10回りんどう会研修旅行が常盤路で開催されました。板東無双の名嶽とうたわれた筑波山を御神体と仰ぐ、国内屈指の古社である筑波山神社をまず正式参拝。次いでふもとのホテル青木屋にて和会席膳の昼食を堪能。筑波ハムにて試食と買い物を楽しんだ後、日本初の本格的ワイン醸造所である牛久のシャトーカミヤにて、ワインの試飲と買い物を楽しみました。



氏子青年会だより

表参道注連縄張り

9月9日、秋の大祭を控え早朝より注連縄張りが行われました。氏子青年会25名の手により表参道両側、方南通りの神輿合同宮入の渡御道を飾りつけて秋祭りの雰囲気高めました。

門松づくり

年末恒例の門松づくりが12月24日に行われました。立派な門松が社頭に飾り付けられ新年を迎える準備が整いました。新春元日には神門前にて振舞い酒と八幡そばの模擬店を奉仕します。



『神社年鑑2018』のインタビュが

「神社と生活を結び、よりよく生きるための情報を発信する」として平成29年3月に『神社年鑑2017』が刊行されました。同誌発行委員会・WAG O 和合編集部制作で、「神社発見」「お祭りカレンダー」「宮司講話」「全国主要神社200」等で構成されています。来春刊行の『神社年鑑2018』中の「宮司講話」で当宮宮司が紹介されます。10月11日同誌編集担当とカメラマンが来宮、インタビュを受けました。



第5回フォトコンテスト作品募集中

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂きます。平成30年の大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示し、ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、昨年引き続きフォトコンテストを開催致しております。

応募期間 平成29年10月1日～平成30年7月31日

募集サイズ 2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。応募作品は一人につき5点までです。詳細は、社頭やホームページにて要項をご確認下さい。

協力写真店

ホッタカメラ本店(浜田山) フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口) カメラハウス本店(久我山) ストックワーク(中野)

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きます。)

大宮八幡宮

第4回フォトコンテスト入選作品発表

最優秀賞(最優秀賞)



『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』 奥村 泰子

審査委員長賞(優秀賞)



『大舞台』 杉園 幸司

今回で第4回目となる大宮八幡宮フォトコンテストは、近隣の写真店にもご協力いただき、平成29年7月31日までに16名50点の作品が集まりました。

杉本恭子審査委員長はじめ、宮司・審査委員の方々の厳正なる審査のもと、最優秀作品1点、優秀賞1点ほか各賞が選出されました。また、9月22日には表彰式が行われ、当日は受賞者らが集い、杉本審査委員長を代表にまず正式参拝。次いで、大宮八幡宮清涼殿「亀の間」にて表彰式が行われました。各賞が次々に発表され、審査委員長より講評、各作品のポイントや撮影のコツなどがアドバイスされました。

金賞



『光と風』 白川部 佐織

銅賞



『今年もきれいをありがとう』 杉谷 純子

銅賞



『早朝の陰影』 関根 千夜子

銀賞



『今年の桜は』 早川 幸子

銀賞



『冬への誘い』 窪田 実

銅賞



『夏鏡』 櫻井 正明

初宮詣芳名(続)

(平成29年7月21日・11月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- 花木栞也 伊藤優花 中尾すず 三浦千果
伊藤優那 根立瑠葵 小町進 高岩実央
吉岡奏音 佐野利真 松島叶夏 坂田柊
宮本湊 青山英美里 増川美季 川陽美梨
山口充輝 北村美音 椎橋美矢 川柳響歌
山田風汰 萩原涼 山田雄斗 高谷栄斗
橋田紗来 山田海璃 清水海璃 大羽春輝
富田夏摘 平井嘉乃 坂狩歩果 宮内結子
鈴木大樹 百瀬晴 新山結人 阿部響木
中川愛彩 和田レミ 井門蓮 井上麗
佐野太一 山下湊大 木田奈穂 山田結良
水岡結樹 佐藤衣真 名田悠人 岩下文香
吉田徳臣 武井遥真 太田早月 末竹宗次郎
新井悠仁 阿久澤仁太 森大輔 佐野詩夏
阿久澤仁太 森大輔 佐野詩夏 佐野詩夏
久野澤元 本田葵子 坂井創一 坂井創一
戸枝詩織 長濱海琉 片岡準大 清水春佑
城野将吾 郡司真之介 郡司真之介 清水春佑
宮本希帆 矢作紀奈 矢作紀奈 小網仁
小野竜真 水澤こはる 水澤こはる 竹林寛人
廣瀬優 三好辰弥 三好辰弥 赤木美三央
宗藤河生 齋藤瑞夏 齋藤瑞夏 高崎優治
高力咲妃 鈴木陽太 鈴木陽太 高崎優治
岸本一悟 本多細希 本多細希 柏木快星
菅谷怜人 富岡乃愛 富岡乃愛 坂本真菜
廣瀬健人 田中咲優 田中咲優 鈴木暁
田中志桜里 柴田三ツ葉 柴田三ツ葉 井之口智介
川井陽太 伊藤寛見 伊藤寛見 石上瑛介
伊藤愛菜 味野千夏 味野千夏 石上瑛介
須藤凛乃介 浅野凌 浅野凌 近藤迅
濱田七海 山村涼成 山村涼成 高田彩夏
小菅花奈 米田直那 米田直那 小野田璃子
笹井環玖 青木知奈 青木知奈 野田穂夏
南雲水貴 遊佐彰大 遊佐彰大 長山蒼
佐伯智也 初瀬菜 初瀬菜 齋藤那菜
石井心晴 江龍乃彩 江龍乃彩 神野煌太
中村朔太郎 神野煌太 神野煌太 松崎藍音
塚田陸斗 松崎藍音 松崎藍音 井上稟心
中嶋大翔 井上稟心 井上稟心 尾崎葵和
成井創志 尾崎葵和 尾崎葵和 久保柑奈

とんぐり通信

おひさまやうらさん



年長児が順番に舞う、朝日子舞の奉納を終えて「奉納記念の家族写真撮影」の補助をしてい



朝日子舞の子どもたちを見て懐かしくて！と声をかけられ「〇〇の母親です。子どもは35歳になりました。あの

結婚式挙式者芳名(敬称略)
山内豊也・久美子 大瀧翼・泰代
二階堂紘之・綾 壺井大輔・真弓
大崎厚男・亜都 オーキン・ディビッド
山本祐史・恵里子 高山恵子

戌の日詣り
子育八幡さまの当宮で
安産祈願祭を！
※戌の日以外でも随時お受けしております
ご祈願の方には安産腹帯(大宮八幡息長帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様と健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。

かなと思つて幼稚園にきました！と声をかけられることがあります。立派に成人されて父親になり、母親になり、私たちに我が子を見せてくれる時の姿が本当に素晴らしい、開口一番「おめでとう！それでいくつになったの！」「・・・歳です」「うわー私たちも年とるわけね！」「担任の先生は誰だったかしら」などの会話からいつの間にか在園していたころの話で盛り上がり、「こんなことを覚えている？」と尋ねると「園庭で遊んだこと」「いたずらをして怒られた時はすぐ怖かったけどあとはいつも優しくかった」「朝日子舞でドキドキしたこと」などなど互いに語り合い幸せなひと時を味わうことができます。
今、在園している子どもたちもいつかこんな姿を願いながら、日々の保育に頑張っています。この子たちが成人する頃には私たちはいつたい何歳になつているのだらうと思いますが、十数年後に成人になる目の前の子どもたちに園の伝統をふまえて、時代に即しながら、失われつつある日本の文化をどう伝えていくべきかを常に考えていくのが保育者の務めではないかと、久しぶりに会った保護者の方や卒園児の姿をみて、あらためて思うこの頃です。
草村敏子



すがすが
新年にはご祈願をお受けになり、清々しい1年に致しましょう

平成30 戊戌年 元旦零時 神能「翁」・新春厄除開運初大祈願祭（一番祈祷）斎行



新春を寿ぐ神能「翁」人間国宝野村四郎師



おきながすず
息長鈴による鈴振り神事



歳旦祭 宮司以下参進

清々しい初日の出を迎え、多くの参詣者で賑わうご社頭



運気が伸びるようにお神籤を結ぶ



立正佼成会 庭野会長他役員御一行参拝



授与所にて新年の御守を受ける参拝者



表参道の賑わい



小笠原流新春除魔神事 墓目の儀



幸福撫でがえる石にも続々と

大 宮 第110号
平成30年 新春号
平成30年1月1日発行
大宮八幡宮社務所
〒168-8570
東京都杉並区大宮2-3-1
電話(3311)0105 FAX(3318)6100
Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp



新春の
代表的な授与品